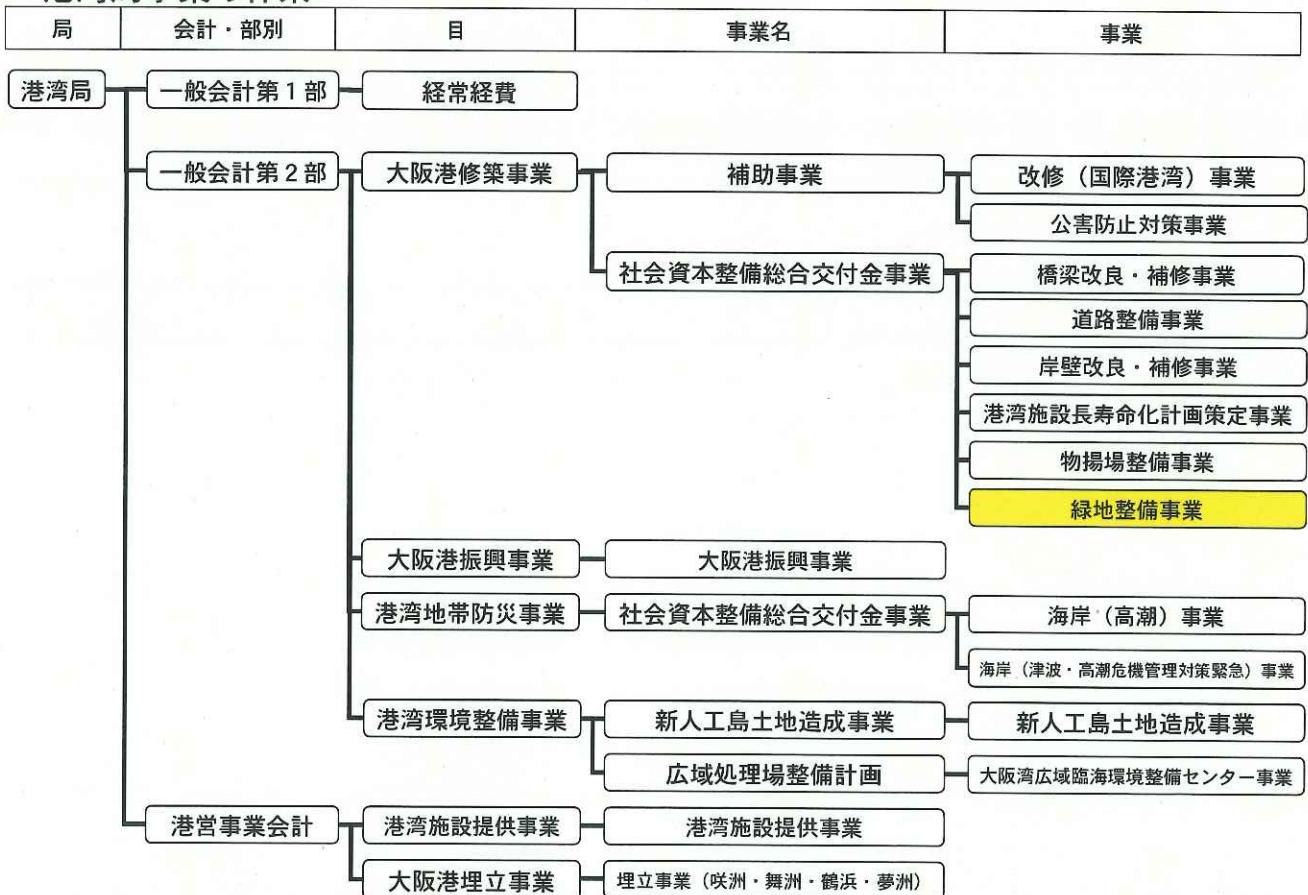


此花西部臨港緑地整備事業 実施状況説明資料

平成23年11月
港湾局

港湾局事業の体系



事業概要・事業目的

・大阪市では、市民に親しまれる港づくりをめざし、昭和48年に港湾の環境や景観を整備し、保全する目的で、港湾法が一部改正されたことを契機に同年より大阪港でも補助事業として緑地造成を実施している。
その整備方針は以下のとおりである。

▽大阪港の西側水際沿いに大規模な緑地を整備し、市民のレクリエーション需要に対応するとともに、大阪港の修景を図る。

▽自然環境の保全を図り、市民が自然と接することのできる緑地を整備する。

▽港で働く人々、港を訪れる人々が憩い集うことのできる緑地を整備する。

なお、平成23年4月末時点での港湾環境整備事業（補助）で整備（供用含む）した緑地は約95ha（計画面積約136ha）である。

（平成22年度に国庫補助事業から社会資本整備総合交付金へ移行）



2

事業の変遷

港湾法一部改正（昭和48年7月）・・・港湾環境整備事業の創設。

・昭和48年以前の港湾計画での緑地面積は約9haであったことに対して、昭和51年の港湾計画改訂では約61haと大幅に緑地面積が増加している。（平成23年4月末現在の港湾環境整備事業（補助）の計画面積は136haである）
（平成22年度に国庫補助事業から社会資本整備総合交付金へ移行）

・下記の年表により、緑地事業を進めているが大阪市民のうち景観に満足している割合は平成19年度調査で約51%（データでみる大阪のすがた平成19年度版より）であり必ずしも高いとはいえない状況にあり、引き続き緑地整備等に取り組む必要がある。

昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
昭和39年 緑地100年宣言 大阪市の様々な緑化運動が始まる	昭和48年 港湾法の一部改正	昭和58年 大阪市花とまちづくり推進本部設置 く21世紀に向けた花と緑のまちづくり決定の策定	平成2年 大阪市総合計画21の策定 21世紀を展望し、将来に向けた新花と緑のまちづくりの指針 花博の理念を継承・発展させることを宣言	平成7年 グリーンナリ大阪・2005計画の発表 グランドデザインとしての緑の施策	平成11年 大阪港がエコポートモデル港（地区） として指定される	平成12年 大阪市緑の基本計画の策定 都市計画法に基づく緑に関するマスタープランを策定	昭和54年 大阪南港海水遊泳場及び南港魚釣り園開園 昭和59年 南港野鳥園開園 昭和63年 大阪北港ヨットハーバー供用					平成9年 舞洲緑地供用 平成11年 中央突堤臨港緑地 物揚場整備事業と一体整備 平成13年 此花西部臨港緑地 中央突堤臨港緑地 一部供用

3

社会経済情勢の変化

事業採択時（平成9年）

此花再開発地区計画の目標

- ・ U S J を中核施設とする此花西部臨海地区の立地を計るとともに、アーバンリゾート機能の導入を図る。
- ・ 商務、研究開発機能、商品開発、政策機能、人材育成機能及び情報発信機能を導入し、新しい都市型産業の集積を図る。
- ・ ウォーターフロントの立地を活かした質の高い都市居住空間の創出を図る。

以上のような目標のもと、公共施設等の整備方針に次のような方針が示された。

- ・ 緑豊かなゆとりある快適な空間を創出するため、都市公園・スーパー堤防と一体となった親水緑地・公共空地等の整備と連続した緑地や広場を敷地内に整備する。

また、地域防災計画において防災拠点緑地に当該緑地が位置付けられた。

事業再評価時（平成18年）

平成13年

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開業

- ・ 此花再開発地区計画そのものも、いまだ進捗中であり、目標・方針は変わっていない。

- ・ 現在も地域防災計画において防災緑地として位置付けられている。

- ・ 周辺でマンションの建設が進められており、周辺人口の増加が想定される。

- ・ 当初の緑地の計画用地に船舶と鉄道が結節する複合一貫輸送機関があり、これが環境負荷の低減にも資することから、現行の施設の維持の必要性が高まったため、当該緑地の計画面積は9haから6.2haへ変更されている。（平成18年5月の港湾計画の軽易な変更）

事業再々評価時（平成23年）

- ・ 此花再開発地区計画そのものも、いまだ進捗中であり、目標・方針は変わっていない。

- ・ 現在も地域防災計画において防災緑地として位置付けられている。

- ・ 周辺でマンションの建設が進められており、周辺人口の増加が想定される。

平成18年9月末現在島屋6丁目世帯数

260世帯

平成22年9月末現在島屋6丁目世帯数

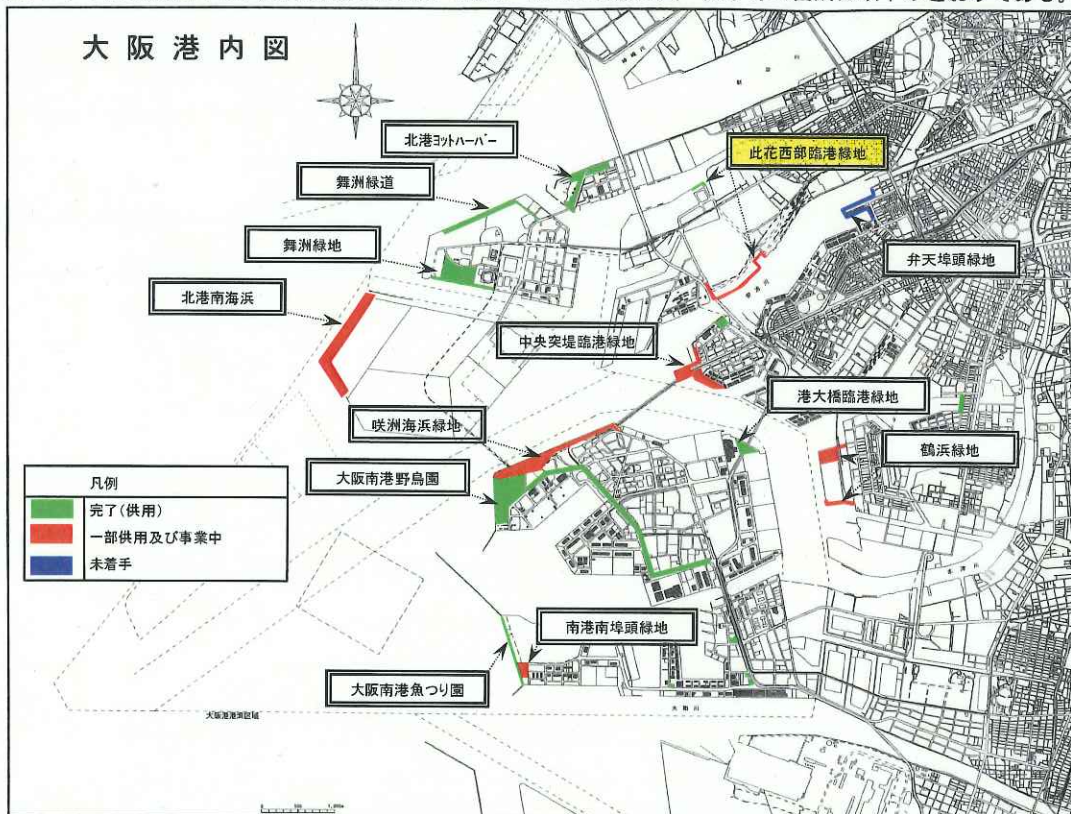
1,387世帯

・ 此花西部臨港緑地は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを核とする此花西部臨海地区の開発に併せて、水際線を親水性の高い潤いのある景観の創出や市内外の来訪者はもとより周辺住民の憩いの場、また、パブリックアクセスの一角として緑豊かな拠点整備を行うため、必要な事業である。

4

事業計画・事業箇所図

・ 平成23年4月末現在での、港湾環境整備事業（補助）緑地の事業計画・完了等の箇所は以下のとおりである。



（平成22年度に国庫補助事業から社会資本整備総合交付金へ移行）

5